

評価細目の第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 3つの保育理念を踏まえ、基本方針が明文化されている。それに基づき、わかりやすい保育目標が明文化されており、当園の目指す方向性や考え方が読み取れる。理念・基本方針・目標は、朝礼、職員会議やカリキュラム研等を通じて周知を図っている。利用者への周知については、園内各所での掲示、ホームページでの発信、保護者総会等での説明を通して周知を図っている。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 保育に関する制度・福祉動向等の把握については、市の子ども・子育て支援事業計画や各種研修への参加等を通して情報収集している。また、地域の福祉ニーズについては、地域住民の子育て相談、小・中学校や他の幼稚園との連携、地域団体との交流等を通して地域の子育てニーズの把握に努めている。		
改善できる点／改善方法：		
3	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 子育てニーズの動向や園の運営状況を分析し、園の経営構想や研究構想の立案を通して、具体的な経営課題（未満児保育ニーズ等の地域の特性に合わせた子育てニーズへの対応、人材確保、職員配置、職員の質の向上、新型コロナ感染症対策、地域貢献等）を明確化し、課題改善に向けた取り組みを行っている。		
改善できる点／改善方法：		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	㉐・b・c
良い点／工夫されている点： 中・長期計画については、市の子ども・子育て支援事業計画を踏まえ、園独自で中・長期計画が策定されている。		
改善できる点／改善方法：		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	㉐・b・c
良い点／工夫されている点： 中・長期計画を踏まえた事業計画（園経営構想・研究構想）を策定している。事業計画は、園の基本方針を示し、重点項目を定め、施設運営全般に渡る現状と課題、改善に向けた実施計画を計画している。また、保育・児童福祉制度動向や変化するニーズを把握し、園の地域性や独自性を織り込んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	㉐・b・c
良い点／工夫されている点： 事業計画は、職員参画のもと、前年度末に職員会議等を通して策定するとともに、年度当初の職員会議で職員への周知を図っている。今年度も引き続き、コロナ禍の状況下における対応が運営課題の一つになっている。		
改善できる点／改善方法：		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	㉐・b・c
良い点／工夫されている点： 保護者には年度初め、入園式にて保護者総会や行事などの機会に説明し、また、具体的な計画や活動については、園内掲示、園だより等への掲載やホームページ、ICTシステムのネット配信を活用した周知に取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		

I-4 保育の質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果
--	---------

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 自己評価チェックリストを活用し、毎年、定期的に職員間で自己評価を実施し、検討するとともに、定期的に岐阜県福祉サービス第三者評価を受審している。また、園内で、公開保育やエピソード研究、カリキュラム研究、個別支援計画検討会を実施する等、PDCAサイクルを回して保育の質の向上に取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 自己評価、保護者アンケートによる評価や岐阜県福祉サービス第三者評価の受審結果から把握した課題に対して、職員会議等を通して、改善策を立案し、改善に活かしている。		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 役割分担表や事故発生時の対応表において管理者の役割と責任について明文化し、職員会議等の機会を捉えて、表明する等して職員への周知を図っている。		
改善できる点／改善方法：		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 園長は事業運営を取り巻く関係法令に関する研修会に参加し、職員会議や研修会等を通して職員への周知を図るとともに、個人情報保護やハラスメント等についても学びを深め、職員のコンプライアンスについての意識を高めるべく取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 園長は、自己評価チェックや職員会議等を通じて、課題の把握に努めるとともに、日常的な業務の中で職員の意見聴取に努めるとともに、保育実践の指導にあたっている。また、園内での研究会(カリキュラム研、エピソード研、公開保育等)を通して、保育の質の向上に向けた取り組みに指導力を発揮している。		
改善できる点／改善方法：		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 園長は小規模園の強みを活かして、チーム力のあるアットホームで働きやすい職場環境整備に取り組むとともに、ICT化を推進し、記録の効率化や書類の簡素化に努めるとともに、教材を工夫する等、経費節減に努めている。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 人事の裁量権は市にあるが、制度動向を踏まえ、地域の現状に即した園の必要人員体制について市担当課に報告するとともに、加配も含め、適切な人材要請や職員育成に向けて取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 人事考課については、市の客観的な人事評価基準に基づき、評価を実施している。目標管理制度を導入しており、期首に業務評価目標設定を行い、期中に職員との面接を通して、フィードバックを行い、期末に達成度評価を行っている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	㉠・b・c

良い点／工夫されている点： 職員の有給消化率や時間外労働については定期的にチェックして把握するとともに、職員の家庭事情に配慮した勤務体制づくりに努める等、ワーク・ライフ・バランスに配慮した適切な就業環境作りに努めている。日常的な業務の中で、また、定期的な面談を通して職員の意向や意見を聞き取る等、相談しやすい雰囲気づくりや相談体制の充実に努めている。市における各種厚生福利事業及び健康増進事業が実施されている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 目標管理制度を導入しており、期首の目標設定、期中のフィードバック面談、期末評価という一連のプロセスの仕組みを活用し、職員個々の育成に向けた取り組みを行っている。		
改善できる点／改善方法：		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 園の研究構想や園経営全体構想をもとに研修計画を作成し、各種の園内研修、エピソード研、公開保育等の実施や各種園外研修の受講を推進している。		
改善できる点／改善方法：		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 新人向けの職員研修やOJT等、職員一人ひとりの業務に着目した研修を実施するとともに、様々な研修案内を回覧し、公務員研修、階層別研修、テーマ別研修、教育保育研究会研修等、職員個々の水準に適した研修の機会を確保している。現在はコロナ禍の状況にあり、外部研修についてはウェブ研修やe-ラーニング研修等も活用している。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 保育・教育実習に係るマニュアルを整備し、養成校と連携しながら、実習生を受け入れている。受け入れにあたっては、養成校と打ち合わせを行い、実習オリエンテーション、カンファレンスや振り返りを行う等して指導にあたっている。		

改善できる点／改善方法：

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 市のホームページで施設概要、理念、方針や目標、一日の生活、園行事等の事業運営に係る情報を積極的に公開する等、運営の透明性の確保に努めている。また、地域向けにコミュニティーだより『日吉だより』を毎月発行し、園での子どもの活や運営状況等を発信している		
改善できる点／改善方法：		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 本庁で各種規程を整備し、事務、経理、取引等についてルール化している。本庁から付与された園の予算については適正な執行に努めている。毎年、監査を受け、指摘事項については改善を行っている。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 園経営方針の中で「地域に開かれた園作りを目指す」が明記されており、地域との関わりの方針を示している。今年度はコロナ禍の影響で制限せらざるを得ない状況にあるが、例年、様々な行事を通じた交流活動に取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 今年度も引き続き、コロナ禍の状況にあるが、工夫しながら、ボランティア受け入れマニュアルを整備し、地域のボランティア(サツマイモ堀りや絵本の読み聞かせ等)の受け入れをしている。中学校の職場体験も受け入れている。		

改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 地域の関連機関（市担当課、家庭相談員、保健センター、児童発達支援センター、園医、消防署、地域の小学校等）との連携関係が密である。また、地域の民生・児童委員等の関係団体と情報交流を行っている。		
改善できる点／改善方法： 地域の療育ニーズ等、保育の専門的なニーズの増加に応じて、福祉の諸制度や関係機関の相談窓口は様々にあるが、機能させていくためのネットワーク化の推進が期待されている。		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 地域の福祉ニーズについては、園庭開放や地域の子育て支援センターとの連携等での交流、子育て相談活動を通して地域の子育てニーズの把握に努めている。		
改善できる点／改善方法：		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 地域の子育ての拠点施設として、地域の子育てニーズに応じて、園庭開放、相談事業、地域交流その他、様々な活動に取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 教育・保育課程の中で「子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進する。」と明示されており、職員会議等で周知を図っている。また、カリキュラム研等を通して、子どもへの人権の配慮		

について具体的に話し合い、職員全員が一人ひとりの子どもを尊重した保育に取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 子どものプライバシー保護について、マニュアルを整備し、研修を通して職員への意識づけを図るとともに、トイレ、プールでの着替え等、日常的な生活場面においてプライバシー保護に配慮した保育を実践している。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： ホームページで園の保育内容等を掲載したり、入所案内で説明したり、本庁に案内を配置したりする等、保育所選択に必要な情報をわかりやすく提供している。また、園見学や園庭開放の要望にも、コロナ対策に留意しつつ、丁寧に対応している。		
改善できる点／改善方法：		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 入園案内等を用いて保護者にわかりやすく説明している。また、園だよりやクラスだよりの配布を通して年齢に応じた保育内容や生活の流れ等を保護者に知らせている。外国籍の保護者には、文書だけでなく、「ポケットーク」等の機器を活用して、丁寧に説明している。		
改善できる点／改善方法：		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 保育サービスの変更や転園に際しては、子どもの生活が途切れることのないようサービスの継続性に配慮した対応を行っている。就学児については、入学する小学校に指導要録の写しを送付し、子どもの育ちの継続が保障されるようにしている。保育修了時にその後も相談が可能であることを説明し、保護者の意向に沿って、サービスの継続性に配慮した対応を行っている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取り組んでいる。	㉑・b・c

良い点／工夫されている点： 保護者アンケートや行事後のアンケートの実施を通して、利用者満足度の把握に努めるとともに、その結果を集計・分析し、職員会議で改善策を検討している。また、定期的に個別懇談を実施する等、利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 苦情解決の体制を整備しており、苦情受付窓口・苦情解決責任者・第三者委員等、苦情解決の仕組みについて、保護者に文書の配布を行うとともに、園内に掲示する等して、周知に努めている。		
改善できる点／改善方法：		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 送迎時に保護者への声かけに心がける等、コミュニケーションに努めている。また、遊戯室や保育室等、意見を述べやすいスペースを確保して、相談しやすい環境づくりに取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 日頃から積極的に保護者と関わり、気軽に意見を聞けるような関係づくりに心がけている。寄せられた意見に対しては、対応マニュアルを整備し、迅速な対応に取り組んでいる。小規模な園の強みとして、職員間の速やかな意思疎通が図りやすい関係性ができている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 各種の事故防止マニュアルを作成し、迅速な対応手順を定めている。また、ヒヤリハット事例を収集し、職員会や研究会等で分析を行い、事故の発生予防に努めている。定期的に遊具の点検や園舎の内外の点検整備を実施し、安全確保・事故防止に取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		

38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 感染症対応マニュアル等を整備し、研修を実施する等して予防に努めている。新型コロナ対策を強化し、健康チェック、体温測定、手洗いや消毒を徹底し、換気を行い、密をさけるよう工夫するとともに、職員に周知徹底させている。		
改善できる点／改善方法：		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にやっている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 各種災害対応マニュアルを整備し、災害時の子どもの安全確保のため、年間計画に基づき、様々な事態を想定した命を守る訓練を定期的の実施し、各種の災害に備えている。コミュニティーセンターとの災害時の連携も図られている。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 保育理念や保育方針、子どもの実態に基づき、教育保育計画を作成し、指導計画、月案、週案を作成し、保育実践にあたっている。また、各種マニュアル類を整備し、職員会議等や各種研修を通じて、職員間での共通理解を深めている。		
改善できる点／改善方法：		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： カリキュラム研やエピソード研を通して、保育のふりかえりを行うとともに、指導計画、月案、週案を見直している。また、職員会議等を通して各種マニュアル類の定期または随時の見直しを実施する等、サービスの標準化に取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： アセスメントについては、市で統一したアセスメント様式を使用し、定められた手順に従ってアセ		

メントを行っている。入園後の保育ニーズについては、個別懇談時や送迎時、連絡帳、アンケート等で把握している。アセスメントに基づき、子ども一人ひとりのニーズや課題を明確にし、指導計画を作成している。		
改善できる点／改善方法：		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 指導計画の見直しについては、職員間で課題を共有し、職員会議、カリキュラム研、週案研等で評価・分析し、見直しを行っている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 子どもに関する記録については、個別記録に子ども一人ひとりの発達状況や生活状況、保育の経過等が記録されている。職員会議等で各種記録の情報を共有するとともに、記録の標準化に努めている。		
改善できる点／改善方法：		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 記録の管理体制については、個人情報保護に関するマニュアルを整備し、適切な記録の保管、保存、廃棄を行っている。また、ICT化を推進しており、データベースはPCセキュリティ管理を行い、記録文書は鍵付きロッカーに保管する等、厳重な管理を行っている。		
改善できる点／改善方法：		

評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育内容

Ⅳ－１ 全体的な計画の作成

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１） 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 保育課程(全体的な計画)は、保育理念、教育保育指針や教育保育目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえ、地域の実態に応じて編成している。地域の特徴として、母親が就労し、祖父母も働いている家庭も少なくない。その地域ニーズに応じて土曜保育等も実施するとともに、地域の子育て支援としても役割を担っている。また、地域と連携し、園庭開放や育児相談、地域の老人施設の行事への参加もしている。子ども同士や地域住民の関りが密な地域でもあるので、地域で子どもを育てていこうという考えの下、近隣住民からの採れたての野菜の差し入れや、毎月の絵本の読み聞かせボランティアの受け入れ、散歩の際の地域の方々との関わり等通じた交流ができています。年2回の愛園作業の日には、保護者の協力のもと、園の草刈りやワックスがけ等、園の環境整備に積極的に行っている。保育課程は、毎月の職員会や年度末に職員で評価し、次年度の編成に活かしている。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅳ－２ 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－２－（１） 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 園児の人数に対して、園庭が広く、自然に恵まれ、保育室もゆったりした空間である。室内に湿度、温度計を設置し、空気清浄器の使用及び換気により、快適に過ごせる環境となっている。また、コロナ等感染対策のため、室内の玩具等の消毒は、毎日行い、特にトイレについてはアルコール消毒を毎回行う等、衛生管理を努めている。子どもたちが、テラスでおもいきり遊べるように、ブルーシートを敷いて走れるようにしたり、トランポリンを準備する等、子どもが気持ち良く遊べる工夫をしている。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（２） 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 子どもの日常の様子からエピソード記録を作成し、エピソード研究を行っている。この取り組みにより、担任自身の子どもの理解が深まるだけでなく、職員同士で話し合える機会となり、全職員が一人ひとりの子どもの理解を深め、子どもの思いに寄り添える保育につながっている。また、子どもがその子らしい良さを引き出し、自分の意見が持てる（言える）ように職員間で話し合っている。さらに、子どもに対してゆとりを持って優しい言葉がけを行うように努めるとともに、自分を表現する力が十分でない子について、職員間で理解を深め、子どもの状況に応じた保育を行っている。子どもの気持ちを落ち着かせる必要がある場合には、保育室の玩具や壁飾り等がある空き部屋を利用して、子どもが一人で安心して過ごせる場を準備している。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（３） 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	㉠・b・c

良い点／工夫されている点： 子どもが基本的な生活習慣を身につけるための保育をするにあたり、保育者は子ども一人ひとりの発達を捉え、子どもの自分でやろうとする気持ちを大切にした対応に努めている。年齢や季節、活動量に応じて、子どもひとり一人の状態に応じた活動と休息のバランスを保てるよう、午後などに身体を休める時間を設け、子どもが健康に過ごせるよう配慮している。	
改善できる点／改善方法：	
IV－２－（４） 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	㊦ a・b・c
良い点／工夫されている点： 子どもたちが主体的に自然や社会にかかわることができるように工夫している。また、ひとり一人の子どもに対して、興味のある事を大切にしながら主体的に活動できるような環境となるよう努めている。園では、地域のまちづくり協議会と共催で、芋ほり体験を計画し、園児が地域の人々と一緒に芋ほりができる機会を設けている。また、園内にも畑があり、夏と冬には、園児が育てた野菜を収穫している。コロナ以前は、老人施設見学や他の幼児園とのドッジボール大会を実施したり、タクシーで外出等の機会を設けていたが、現在はコロナ禍のため、困難な状況にある。今後、状況が良くなればまた、再開されることに期待する。	
改善できる点／改善方法：	
IV－２－（５） 乳児保育（０歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊦ a・b・c
良い点／工夫されている点： 0歳児が長時間安心して快適に過ごすことができるよう、保育室は明るく、毎日清潔な環境を整えている。子どもの表情等から子どもの姿を捉え、応答的なかかわりを通して、思いを受け入れることを大切にし、愛着関係や信頼関係の形成に努めている。送迎時に、保護者に園での生活の様子等話をしたり、連絡帳を活用しながら、保護者と子どもの健康状態や育ちを共感し、家庭と連携しながら保育を進めている。現在、0歳児は一人なので、保護者同士のかかわりが少ないため、保育士は積極的に保護者の悩みを聞くようにしている。	
改善できる点／改善方法：	
IV－２－（６） 3歳未満児（１・２歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊦ a・b・c
良い点／工夫されている点： 保育を行う様々な場所で、子どもが十分に身体を動かしたり、探索活動が行えるように環境を整えている。子どもの自我の育ちを支えられるよう、自分で行おうとする気持ちを大切に、思いを受け止めた上でその子に合った対応や他者とのかかわりが持てるようにしている。また、異年齢での交流の機会が多く、年長児に刺激され、主体性が育まれている。また、送迎時に、保護者に園での生活の様子等を伝えたり、連絡帳を活用しながら、保護者と子どもの健康状態や育ちを共有し、保護者からの子育て相談も受けつつ、家庭と連携した保育を進めている。	
改善できる点／改善方法：	
IV－２－（７） 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊦ a・b・c
良い点／工夫されている点： 年齢ごとの「健康・人間関係・環境・言葉・表現」5領域による保育計画、指導計画があり、計画に基づいて発達過程を大切にしながら保育を進めている。園庭、築山、近隣の神社等で子どもたちは木の実を拾ったり、紅葉などの季節を感じる等、自然の中でのびのびと活動している。また、保育参観、個別懇談、園評議員会や地域の便り（公民館だより等）を通して、保護者や地域、小学校等に子どもの育ちを伝えている。	

改善できる点／改善方法：	
IV－２－（８） 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 障がい等により、支援が必要な子どもに対して、加配保育士を配置したり、必要に応じて保健センターや子ども発達支援センター（ぽけっと）等の専門機関等、関係機関に相談したりする等、連携を図っている。障がい個性に配慮した個別の指導計画を作成し、子どもが自己の強みを発揮できるよう長期的な見通しを持って保育を行っている。また、集団生活や子ども同士のかかわりを持てるよう配慮するとともに、心身の状況によっては安心して過ごせる空き教室を準備している。子どもの状況については、保護者と情報共有し、共通認識を持つよう努めている。保護者の思いを受け止めるとともに、子育て相談を受け、必要な場合は専門機関等の紹介をしている。	
改善できる点／改善方法：	
IV－２－（９） それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 長時間保育利用の子どもが少ないこともあり、畳の温かい一つの教室で家庭的にゆったりと過ごせるよう配慮した保育ができており、異年齢の子どもたちとの交流の場にもなっている。担任と延長保育担当者は情報交換を行い、その日の子どもの状況について保護者への連絡事項等があれば、保護者に確実に伝えられるよう、口頭伝達だけでなく、ホワイトボードに記入し、引き継いでいる。	
改善できる点／改善方法：	
IV－２－（１０） 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 園評議員会等で、小学校の校長先生等に園内や子どもの様子を見てもらったり、小学校に入学した際に、より子どもがスムーズに生活に慣れるよう、小学校との意見交流を行い、就学に向けて連携している。また、園児にとって就学が身近に感じて、楽しみとなるよう、夏に小学校のプールを利用したり、遠足で小学校の遊具で遊ばせてもらう等の工夫をしている。	
改善できる点／改善方法：	

IV－３ 健康管理

	第三者評価結果
IV－３－（１） 子どもの健康管理を適切に行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 今年度も引き続き、コロナ禍の状況にもあるので、毎朝、家庭で健康チェックカードに記載し、提出してもらい、登園前の体調の把握に努めている。登園中に、体調の変化があった場合には、保護者に連絡する等し、降園後、家庭と連絡を取り、体調について事後確認し、記録に残している。健康管理に関するマニュアルに沿って、毎日の終礼でその日の子どもの体調変化について職員間で共通理解している。保護者から健康に関わる必要な情報を得るよう努め、子どもに既往歴や持病がある場合は、職員会議等で常に共通理解している。	
改善できる点／改善方法：	
IV－３－（２） 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	㉠・b・c

良い点／工夫されている点： 年2回、健康診断、歯科検診を行い、子どもの発育や健康状態を把握している。検査結果は、保護者に伝え、結果によっては病院受診につなげ、受診結果については、園に報告してもらい、保護者と園とで子どもの健康状態を共有している。保護者が子どもの状態の理解を深め、日常生活に活かせるように、保健だより、園だよりや掲示板等を活用し、健康に関する情報を発信している。	
改善できる点／改善方法：	
IV－3－（3） アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： アレルギー対応マニュアルを整備し、全職員に周知している。食物アレルギーのある子どもについては、医師の診断書の提出を受け、保護者と面談して情報共有するとともに、連携を図っている。また、毎月、献立を保護者に確認してもらい、その献立表についてチェックしている。給食時、食事の席を決めたり、おかわりをしなくてもいいように最初から量を多めにする等して、誤食しないよう配慮している。さらに、アレルギーについての研修に参加した職員は、全職員が共通理解できるよう報告している。	
改善できる点／改善方法：	

IV－4 食事

	第三者評価結果
IV－4－（1） 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 食育計画を作成、食を通して楽しい経験ができるようその時々行事食や園外で食事をする機会を設けている。コロナ禍で園外出が困難な中であるが、暖かく天気の良い日等には、園のテラスで食事をし、楽しいひと時を過ごしている。子どもたちが自分の食事の適量が判断できるよう、一人ひとりの量を調節し、適量を知る経験の積み重ねを支援している。また、苦手なものが食べられる時は褒める等して、食に関して、達成感や前向きな気持ちを持てるよう声かけしている。4～5歳児については、野菜を育て、収穫し、メニューに加えることにより、食に関する体験ができるよう工夫している。コロナ禍により、給食参観は行っていないが、メニューのレシピや給食だより等を配布する等して、保護者が子どもの食への理解を深めてもらえるよう努めている。	
改善できる点／改善方法：	
IV－4－（2） 子どもがおいしく安心して食べることでできる食事を提供している。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 子どもの食べる量や状況、食事の様子は日誌に記録し、調理員を通して献立を作成する市の栄養士に伝えることにより、献立内容の見直しにつながっており、子どもがおいしく食べられる食事の提供ができています。調理は園内で行われており、適時適温の食事が提供されている。また、行事食もあり、四季の旬の食材を使った料理を食べる事もできています。衛生管理マニュアルが作成され、それに沿って適切な管理がなされており、子どもが安心して食べる事ができる食事が提供できています。	
改善できる点／改善方法：	

V-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
V-1-(1) 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 送迎時に保護者に口頭で子どもの様子を話したり、連絡ノートを活用する等して日常的に情報交換し、家庭と連携できるよう努めている。また、年2回、個別懇談を行うほか、要望に応じて個別懇談の機会を設けて情報交換等を行っている。さらに、園で直接子どもと触れ合う行事を通して、保護者に子どもの成長を伝えるとともに、子どもの発達や育児を共有できる機会となるよう心がけている。また、園だより、クラスだより、掲示板を利用して保護者に保育内容を伝え、子どもの発達過程や保育方針や意図について保護者との相互理解を図るように努めている。	
改善できる点／改善方法：	

V-2 保護者等の支援

	第三者評価結果
V-2-(1) 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 送迎時には、保護者とのコミュニケーションに心がけ、保護者が気軽に相談できるよう配慮している。また、保護者からの相談があれば、保護者の事情に合わせて対応するようにしている。相談内容については、園長に報告し、必要に応じて職員間で話し合い、対応している。さらに、他機関との連携が必要になった場合には、主任や園長を通し、園として支援している。	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(2) 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 虐待防止と発見対応に関するマニュアルを作成している。隔月の身体計測や着替えの時などに、虐待等の疑いがある場合には、園長に報告するとともに、必要に応じて、子育て支援課・相談員・保健センター等と連携する仕組みができています。	
改善できる点／改善方法：	

評価対象VI 保育の質の向上

VI-1 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
VI-1-(1) 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 保育士は、日々の保育を記録し、自分の保育を振り返り、次の活動や保育に活かせるように努めている。カリキュラム研、園内研修、週案などを通して、各クラスの子どもの育ちを確認し、職員間で話し合い、次の課題があれば保育実践の改善方法を検討し、保育士全体の専門性の向上に努めている。年度初めに目標設定し、各期で自分の保育を振り返り、次回に活かせるよう努めているとともに、秋には自己評価を行い、次年度に向けて見直しをしている。保育士の自己評価は、主任、園長に提出し、面談を通して振り返りを行っている。	

改善できる点／改善方法：

評価対象Ⅶ 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）

Ⅶ－１ 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ－１－（１） 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	㊦ b・c
良い点／工夫されている点： 常に不審者情報が届くように子育て支援室、教育委員会、岐阜県警察メールに登録している。また、防犯カメラを各所に設置し、不審者が侵入しないよう対策している。定期的に防犯訓練を実施しており、近隣の派出所の警察官に指導を受けつつ、園全体で安全に対応できる体制を整えている。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ－２ 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ－２－（１） 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	㊦ b・c
良い点／工夫されている点： 保護者が保育参加等のための予定を立てやすくするために、園の行事予定等については、年度当初、保護者に配布し、事前に日時を知らせている。保育参加では、親子一緒で行える活動や親子観劇会等の行事を企画している。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅶ－２－（２） 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	㊦ b・c
良い点／工夫されている点： 保護者会が自主的に活動しやすいよう、保護者会の会議は園内で行っている。会議には園長、主任も参加し、助言や意見交換を行う等しており、園と保護者会とは良好な関係が築かれている。また、保護者会役員が参観日後の交流会を企画したり、行事の際に器具の出し入れや子どもの見守り等の協力を得たり、また、保護者会として、運動会や行事のプレゼントや記念品等の用意も行う等積極的に関わってもらっている。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ－３ 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ－３－（１） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。	㊦ a・c
良い点／工夫されている点： コロナ禍の影響で、できていない活動もあるが、プールを使用させてもらったり、3月には小学校に遠足に行き、グラウンドや遊具を使わせてもらおう等している。5歳児は近隣の幼稚園とバス遠足に行く等、他園児と触れ合う機会を設けている。	

改善できる点／改善方法：